

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 久御山町

プロジェクト名	「久御山の子」育成プロジェクト	実施期間	H28～H32	テーマ	教育プロジェクト	新規・継続の区分	新規（継続含む）
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町では、町生涯学習計画「くみやまタウンキャンパスプラン」に基づき、「久御山学園」を組織し、保幼小中一貫教育の育ちの中で、地域・保護者・学校・幼稚園・保育所が同じ目標に向かって教育活動を推進している。</p> <p>将来の久御山町を担う子どもたちが、それぞれ希望に満ちた夢や目標を抱けるようにするためには教育の充実が重要であり、特にグローバル化や情報化の進展など、社会情勢が日々変化し続けている中で、時代を切り拓いていくためには、確かな学力・豊かな人間性・健康体力など社会を生き抜く総合的な力である「生きる力」の育成が必要である。あわせて、すべての教育の出発点である家庭における教育力の向上や幼稚園・保育所・学校以外でも子どもたちが安心して過ごせる場を確保するとともに社会全体で子育てをサポートする環境整備への取り組みも不可欠である。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>保幼小中一貫教育をおこなうことで卒にとらわれない“たての接続”を強めるとともに、各校園所と家庭・地域社会が一体となって“よこの連携”を図ることで次世代を担う「久御山の子」を育てることを目指す。また、本町の歴史や文化に触れ、学ぶことにより、豊かな感性を育み、郷土を愛する心を育てる。目指す子ども像を幼稚園・保育所・学校をはじめ家庭や地域社会全体で共有し、一体となって久御山ならではの教育活動を推進していく。</p>						
		総事業費（千円）	748,640	本年度事業費（千円）	63,900	交付金額（千円）	23,886
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	幼保一体的運営事業	交付対象事業	3幼稚園に保育所5歳児の分園を設置し、幼保の一体的運営を行った。	嘱託教諭の配置：3名 臨時保育士等の配置：保育士19名、用務員5名 臨時調理員の配置：幼保補助3名			
	国際理解教育推進事業	交付対象事業	外国人の指導助手（ALT）の雇用及び久御山中学校と姉妹校のワーウィック・ステート・ハイスクールとの学校間交流を実施した。	外国青年招致事業：1名 外国語指導助手配置：3名 W. H. S交流事業（受入：生徒15名）			
	久御山学園推進事業	交付対象事業	幼保一体化を含めた0歳から15歳までの一貫教育を展開した。また、久御山学園教育研究会を設置し、今後の展開方針や具体的な取り組み等の協議及び年次における進捗状況等の検証を行った。	久御山学園研究発表会：3回開催			
	学力向上対策事業	交付対象事業	少人数授業のための講師を配置し、生徒（児童）指導の充実と学力の向上を図った。	常勤講師の配置：小学校各校1名、中学校3名			
	学校図書館事業	交付対象事業	学校図書館を充実させるため、図書館司書を小・中学校に配置した。また、児童・生徒への読み聞かせなど司書教諭の支援を行うとともに、学校図書館の蔵書整備を行った。	図書館司書の配置：2名 学校図書館の蔵書整備			
	教材整備事業	交付対象事業	教材備品等の整備を行った。	理科備品及び教材備品の整備、楽器購入、副読本制作			
	情報教育環境整備事業	交付対象事業	小・中学校の情報教育の推進や校務の迅速化のため、コンピュータ教室の機器借上や職員用PC配置、LAN配線の整備を行った。	コンピュータ教室及び教職員用の機器更新や保守管理			
	学び推進事業	交付対象事業	中学生の自主的な学習支援と基礎学力向上のため、アシスタントティチャーを配置し、土曜塾を行った。	土曜塾実施回数：年7回			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 久御山町

	図書館運営事業	交付対象事業	多様なニーズや学習活動に対応するため、図書館の蔵書の充実や障害者の自宅への図書配送サービスを行った。	図書館の運営（図書展示・おたのしみ会等の実施） 図書館の蔵書整備及び障害者への図書配送サービス	
	幼稚園施設整備事業	関連事業	町立幼稚園の施設整備を行った。	屋上防水改修工事（東角幼稚園）、防犯カメラの設置	
	保育所施設整備事業	関連事業	町立保育所の施設整備を行った。	（仮称）さやまこども園整備工事、防犯カメラの設置	
	学校施設整備事業	関連事業	町立小・中学校の施設整備を行った。	高圧設備改修（佐山小学校）	
住民協働事業	学校運営補助事業	交付対象事業	各種団体への負担金と学校運営協議会や芝生化推進事業への補助を行った。	補助総額：2,257千円	
	社会教育団体補助事業	交付対象事業	青少年の健全育成に向けた活動を支援するため、社会教育団体（町PTA、町青少年健全育成協議会）に対し補助を行った。	補助総額：1,280千円	
	家庭教育推進事業	交付対象事業	子育てを中心とした家庭と子どものあり方について学習する機会を提供するため、幼児、小中学生を持つ親を対象に、各種講座を開催した。	子育て支援学級講座：年2回開催・52名参加（延べ人数） 就学時子育て講座：年3回開催・107名参加（延べ人数） PTA家庭教育講座：年1回開催・63名参加	
	子ども居場所づくり事業	交付対象事業	放課後や学校休業日に学校や地域集会所を子どもの安全な活動の場の拠点に据え、その活動をコーディネートするとともに情報を提供した。	まなび教室：3地域で開催・年24回 876名参加（延べ人数）	
	歴史文化推進事業	交付対象事業	歴史や文化にふれ合える機会を提供するため、町の歴史や生活を学習する「ふるさと教室」等の実施や町郷土史会等の活動を支援した。	ジュニアふるさと教室：年3回開催・152名参加（延べ人数）	
	中学校部活動支援事業	関連事業	中学校の部活動に社会人指導員に協力を依頼し、部活動の活性化を図った。	部活動支援員：14名	
成果指標①	成果指標の目標数値	中学校3年生の学習時間増加の推進： 1時間以上の学習時間の割合65%（平成32年度）		成果指標の実績値 （平成29年3月31日時点）	学習時間の割合：45.9%（平成29年3月31日時点）
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	土曜塾の開催や久御山学園における学力向上に向けた取り組みにより、中学生の自主的な学習習慣が定着し、昨年度よりも自宅での学習時間を増やすことができた。現時点ではできていないが、平成32年度の成果指標の目標に向けて取り組んでいく。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 久御山町

成果指標②	成果指標の目標数値	まなび教室の実施：参加人数1,500名		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	参加人数：876名（平成29年3月31日時点）
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	現在、町内3地域で開催しているが、実施箇所の拡大が行えず、参加人数を増やすことができなかった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	ジュニアふるさと教室の実施：参加人数150名		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	参加人数：152名（平成29年3月31日時点）
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	概ね成果指標の目標を達成することができ、町の歴史や文化を学ぶことができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	学校図書標準達成率：91.2%		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	達成率：89.2%（平成29年3月31日時点）
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	昨年度と比較すると達成率は上がっているが、中でも、中学校の蔵書整備が83.2%とまだまだ整備が必要な状況である。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>中学生を対象に土曜塾を開催し、学力向上における取り組みの結果、学習意欲が向上し、自宅時間の学習時間の増につなげることができた。また、歴史や文化を学ぶジュニアふるさと教室においても、参加者が150名を超え、子どもに町の歴史や文化を伝えることができた。</p> <p>まなび教室については、農業体験や昔の遊びなど、日頃触れることのできない体験により、子どもにとっても貴重な体験ができる部分で寄与している。成果目標には及ばなかったが、今後、実施箇所を拡大するなど、新たな施策を考えていく。さらに、学校図書標準達成率についても、着実には蔵書整備は進んでいるものの、今後とも目標達成に近づけるよう取り組んでいく。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	幼稚園、保育所及び小・中学校の施設整備を行うことにより、子どもが安全で安心して学び、過ごすことができる環境を整備することができた。特に、(仮称)さやまこども園については、平成30年度開園に向けて整備が進んでいるところである。			
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果	学校運営団体や社会教育団体に対する補助については、学校支援の組織構築や青少年の健全育成に向けた支援により、教育環境の充実につながった。また、子どもにおいても、放課後や学校休業日に開催のまなび教室や、歴史や文化に触れ合うためのふるさと教室により、日頃体験することのできない様々な内容を学習することができた。			
	リーディング・モデル成果	久御山学園教育研究会では、本町カリキュラムの研究・検証を行っており、ここに補助を行うことで保幼小中一貫教育を展開することができた。また、少人数学級で学習することで、学力充実はさることながら、生徒指導の面からも効果を上げることができた。			
	広域的波及成果				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名： 久御山町

	行財政改革に資する成果	楽器更新等の教材整備の計画的な執行により、優先順位を明確化させ更新サイクルを確立することができた。
	その他の成果	保幼小中の連携により、子どもの進級時に段差解消を図ることができた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。